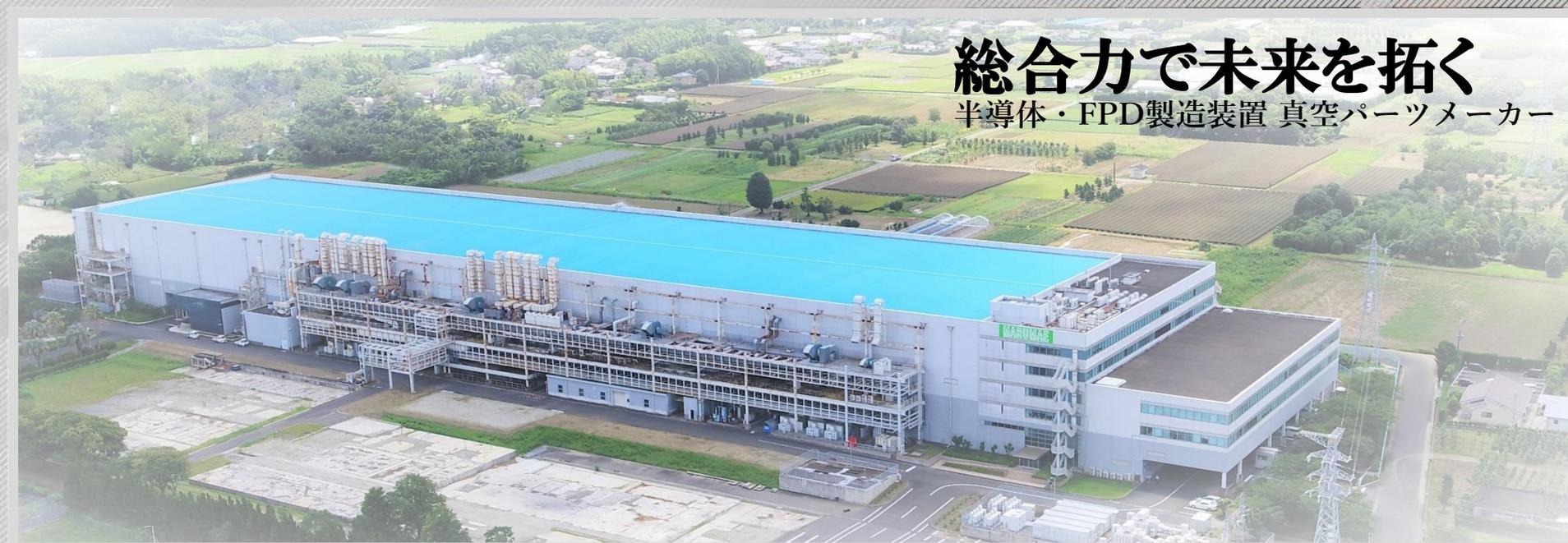


東証(TSE):6264

**株式会社マルマエ**  
**2021年8月期 第3四半期決算 補足資料**

2021年6月30日

**総合力で未来を拓く**  
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



# 1. 決算概要

## PL分析

PL

	2020年8月期 第3四半期累計期間		2021年8月期 第3四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高	3,272	—	4,273	—	30.6
受注残高	903	—	1,538	—	70.3
売上高	3,182	100.0	3,615	100.0	13.6
売上原価	2,191	68.9	2,406	66.5	9.8
売上総利益	990	31.1	1,209	33.5	22.1
販売管理費	361	11.4	433	12.0	19.8
営業利益	629	19.8	776	21.5	23.4
経常利益	600	18.9	772	21.4	28.7
特別損益	109	3.4	18	0.5	△82.8
当期純利益	493	15.5	556	15.4	12.7
EPS (円)	37.97	—	43.43	—	14.4

Point

### ① 受注状況

- 半導体分野：3,321百万円  
(対前年同期：32.1%増)
- FPD分野：777百万円  
(対前年同期：4.7%増)
- その他分野：174百万円  
(対前年同期：972.4%増)

### ② 売上高

- 対前年同期13.6%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

### ③ 売上原価・売上総利益

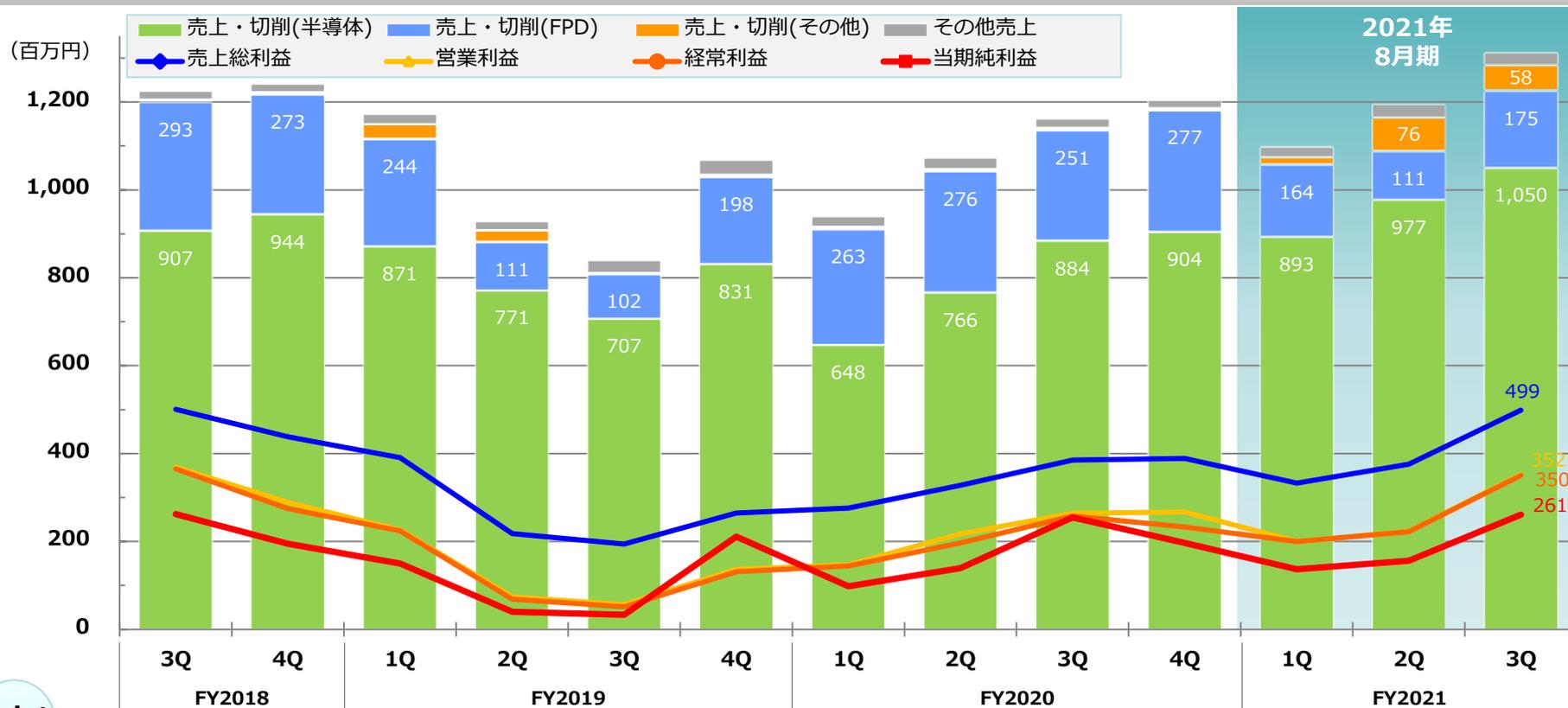
- 材料費：17百万円増加  
(対前年同期：3.3%増)
- 外注加工費：84百万円増加  
(対前年同期：22.9%増)
- 労務費：107百万円増加  
(対前年同期：15.9%増)
- 減価償却費：59百万円増加  
(対前年同期：16.4%増)

### ④ 営業利益

- 販管人件費：44百万円増加
- 支払報酬：20百万円増加 (計画外)

# 1. 決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、半導体分野過去最高でFPD分野は回復

- 半導体分野：2,921百万円（対前年同期：27.1%増）
  - ・半導体分野は市場環境良く四半期過去最高更新
- FPD分野：451百万円（対前年同期：42.9%減）
  - ・市場改善とEBW（電子ビーム溶接）で売上回復

### ■その他分野：153百万円（対前年同期：800.1%増）

- ・2Qに続き太陽電池製造装置向け貢献

### ②損益面は材料費や外注費の少ない受注が増え改善

- ・当期純利益556百万円（対前年同期：12.7%増）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1. 決算概要

## B/S分析

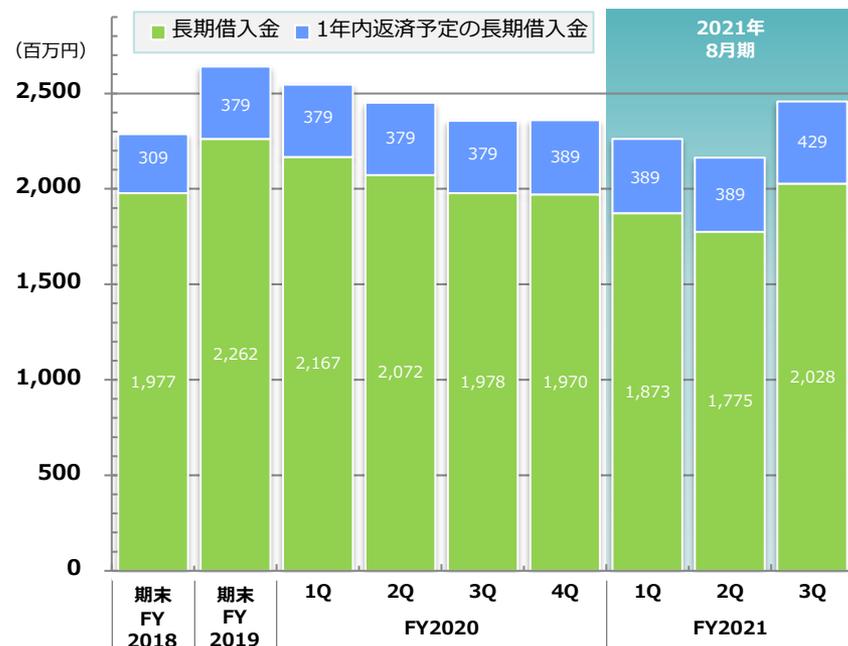
B/S

	2020年8月期 会計年度末 (百万円)	2021年8月期 第3四半期末 (百万円)
流動資産	4,369	4,572
現金及び預金	2,540	2,587
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,376	1,362
たな卸資産	438	591
固定資産	4,524	4,542
建物・土地	2,359	2,308
機械及び装置	1,775	1,749
流動負債	1,183	1,068
有利子負債(短期)※	389	429
固定負債	2,004	2,066
長期借入金	1,970	2,028
負債合計	3,188	3,135
純資産合計	5,706	5,980
総資産	8,894	9,115

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

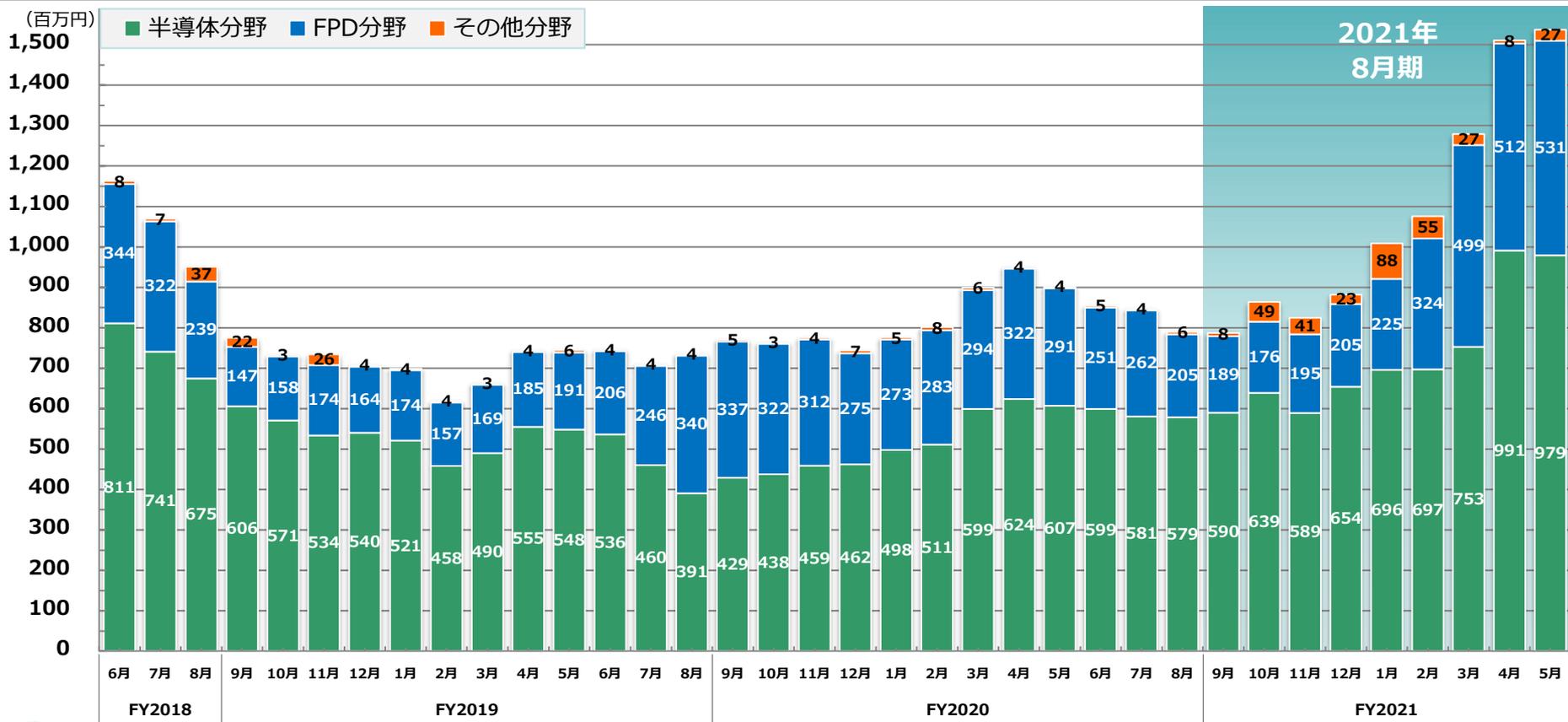
Point

- ① **資産：9,115百万円(前期末比:221百万円増加)**
  - たな卸資産：152百万円増加
  - 建設仮勘定：122百万円増加
- ② **負債：3,135百万円(前期末比:53百万円減少)**
  - 長期借入金：57百万円増加
  - 未払法人税等：144百万円減少
- ③ **純資産：5,980百万円(前期末比:274百万円増加)**
  - 配当金の支払い：281百万円
  - 四半期純利益の計上：556百万円
  - 自己資本比率：64.2%→65.6%



## 2. 事業環境

### 月次受注残高の推移



#### Point

- 半導体分野：市場の全面的な好調に加え、新規顧客からの受注増加
- FPD分野：G6 OLED（有機EL）向けに加えG10.5液晶回復傾向。シェア拡大も受注回復に寄与
- その他分野：自社製自動化設備装置の受注あり

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム（LT）があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。

## 2. 事業環境

### 今後の販売分野別の環境と方針等

#### 半導体分野

- ◆ ファウンドリ※・メモリ好調なうえにロジック投資拡大
- ◆ ロジック拡大に関連し新規顧客からの量産受注開始
- ◆ 市場拡大とシェア拡大へ積極的設備投資で対応

#### F P D 分野

- ◆ 市場環境はG6 OLED拡大に加えG10.5液晶投資も一部再開
- ◆ 市場回復に加えシェア拡大進む
- ◆ 受注拡大に備え、若干の増産投資決定

#### その他分野

- ◆ 太陽電池向け引き合い続くも流動的
- ◆ 生産余力を活用できる受注目指す

※ファウンドリとは、顧客からの設計データをもとに半導体を受託製造するメーカーのことです

# 3. 2021年8月期の業績予想

## 当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

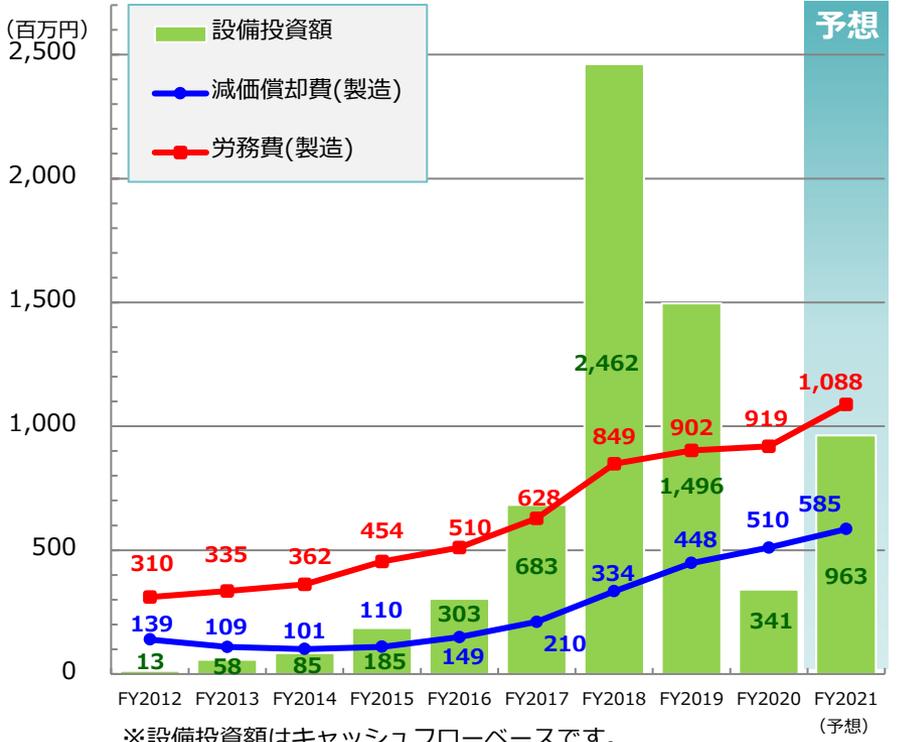
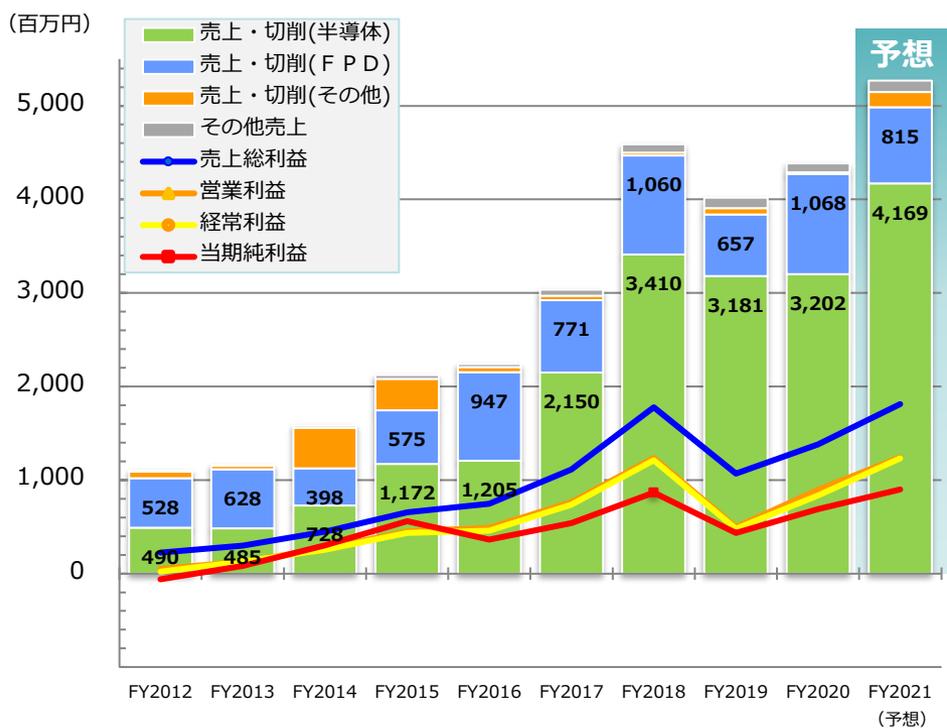
業績  
予想

2021年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
通期	5,270	1,240	1,231	900	70.30

通期売上高および利益を再上方修正。(2021年6月30日開示)

Point

- ✓ 売上高・利益共に過去最高更新見通し
- ✓ 受注拡大に合わせ今期設備投資増額
- ✓ 中期事業計画の数値目標達成のため月産7億円（半導体5.5億、FPD1.5億）の生産キャパ実現に注力



※設備投資額はキャッシュフローベースです。

## 4. 中期事業計画「Innovation2022」

数値目標等 計画期間～2022年8月期末

### 中期事業計画 Innovation2022

数値目標

売上高70億円 営業益20億円



ROIC※

資産ベースROIC 18%

負債ベースROIC 14%

配当性向

配当性向 30%以上目標

最低配当額 年間 10円

ESG

サステナブル経営の推進  
重要課題への中長期的な取り組み

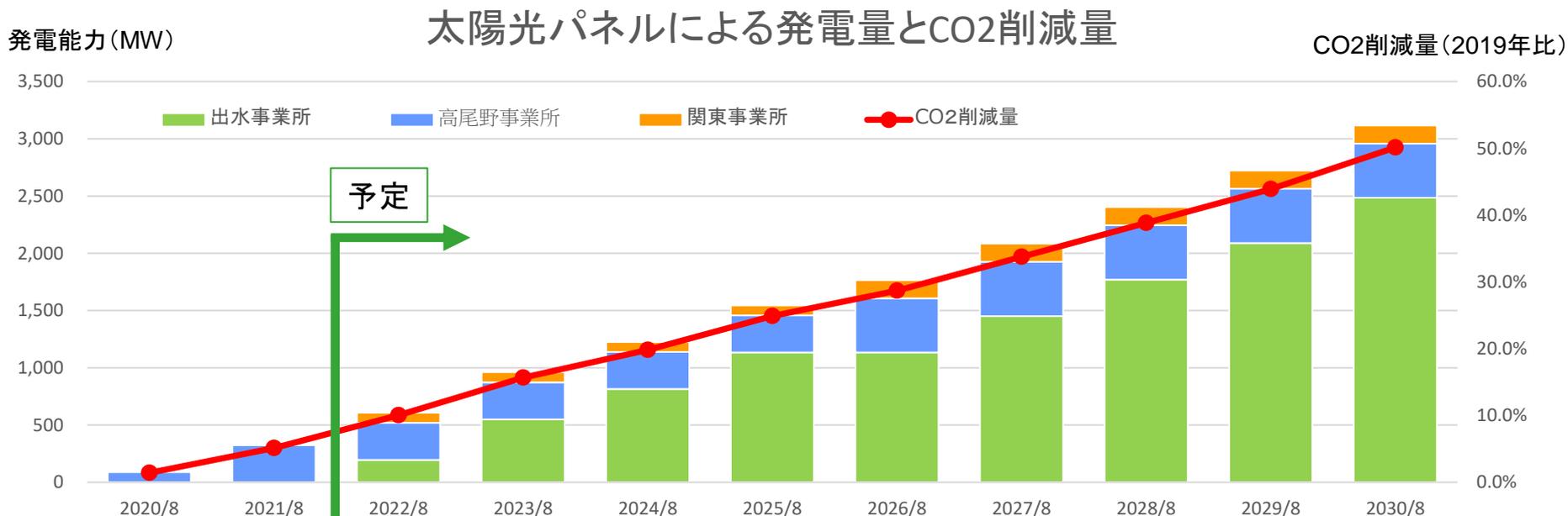
※本数値は中期事業計画の目標値であり、本年10月に公表予定の来期見通しは未定です

# 5. ESG経営 Sustainable Management

## ESG経営への取り組み 地球環境への配慮 (Environment～環境)

ESG

再生可能エネルギー活用によるCO2削減推進  
2030年8月期に年間使用量50%以上を太陽光で自社発電



当初計画：2030/8期まで合計424百万円を設備投資（50%以上のCO2排出量削減）

太陽光パネル容量：1.87MW

蓄電池容量：0.60MW

太陽光年間発電量：2,640[MW・h]

進捗：2021/8期までに累計40百万円の設備投資を実施（5.1%のCO2排出量削減）

※2030年8月期CO2削減目標1,085トン以上

※2019年8月期電力使用量：5,124MW・h（CO2換算2,169トン）

## 5. ESG経営 Sustainable Management

### ESG経営への取り組み 地球環境への配慮 (Environment～環境)



2020年6月高尾野事業所第2工場  
太陽光パネル設置の様子



2021年6月高尾野事業所第4工場・第8工場  
太陽光パネル設置の様子

2022/8期には、出水事業所・関東事業所にも順次設置予定

私達は持続可能な経営を念頭に  
技術で社会貢献できる企業を目指します

# 注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

# Company Profile

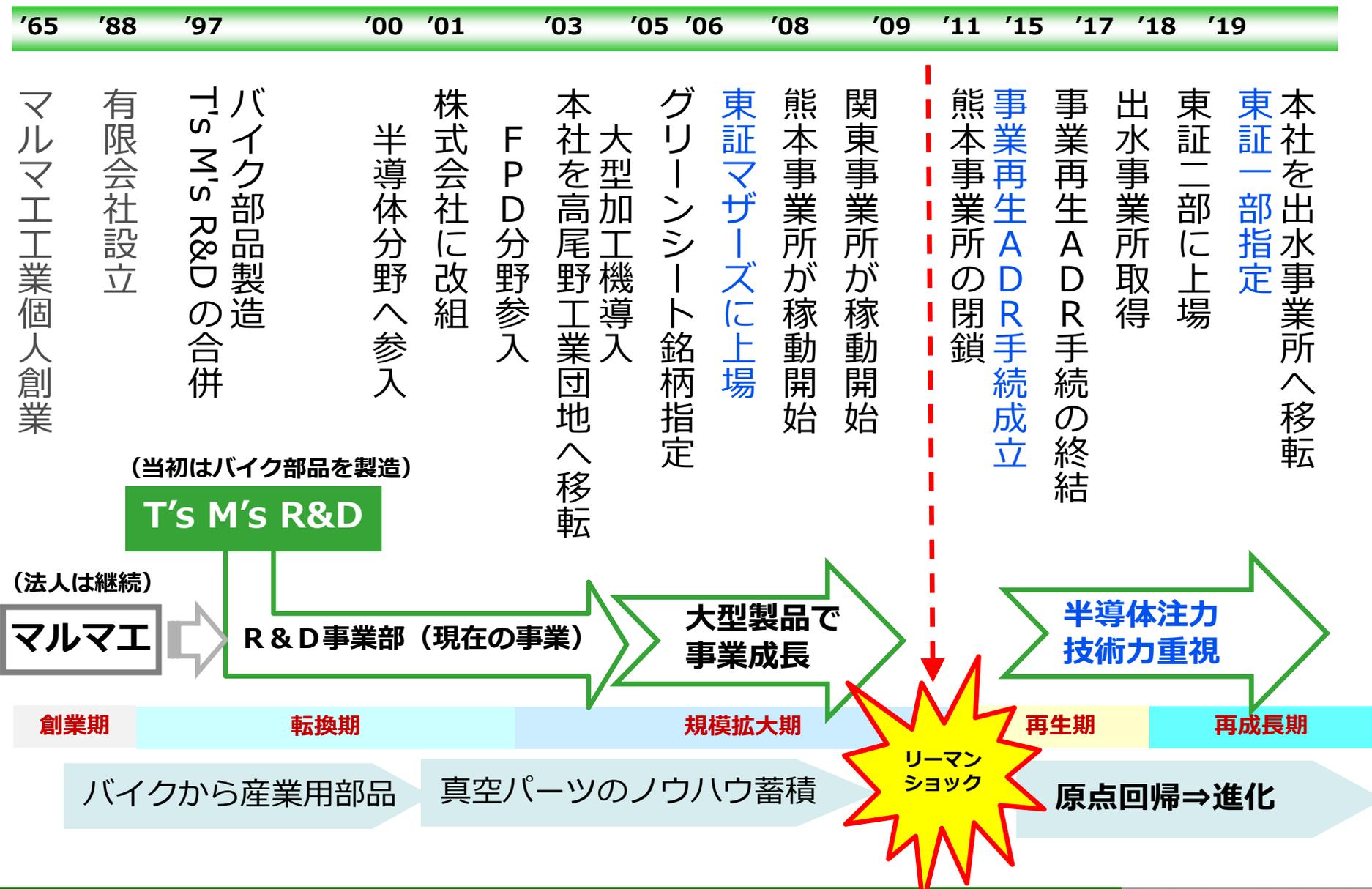
企業情報

# 参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

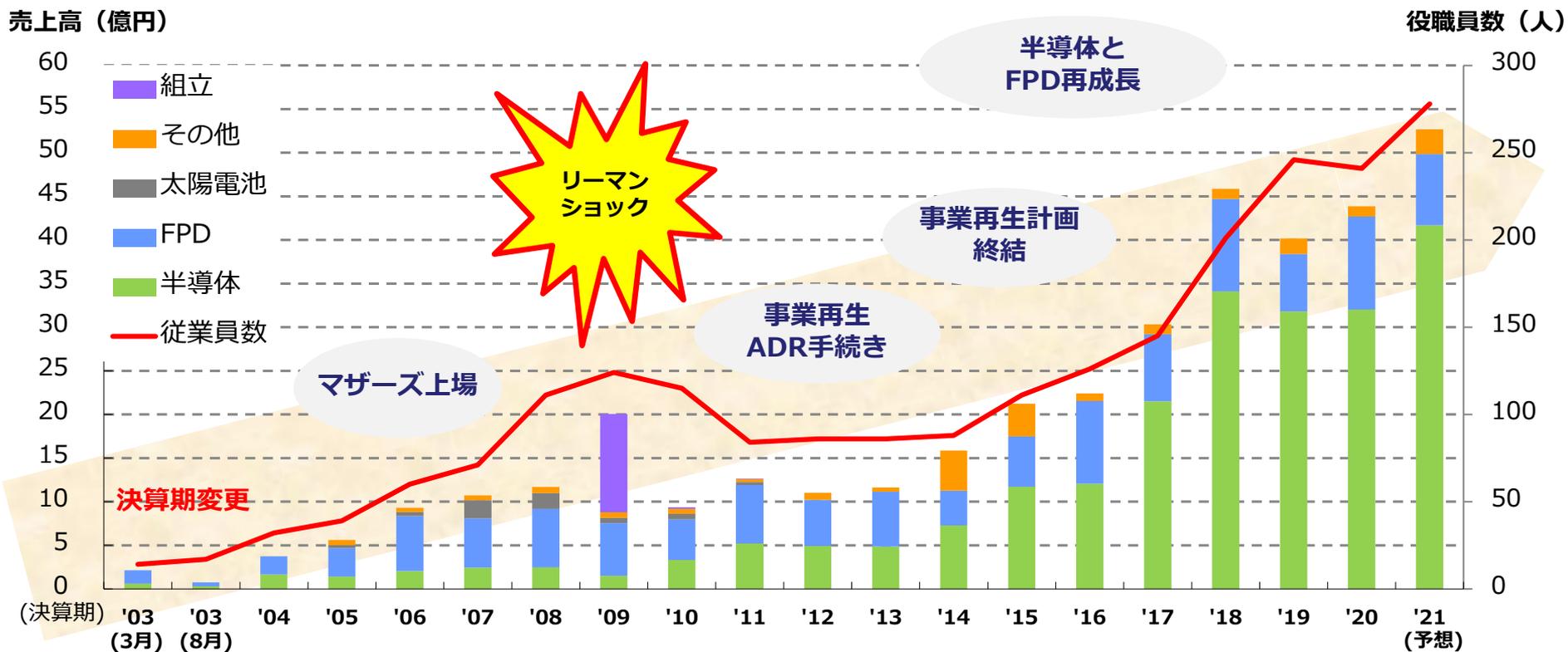


# 参考資料（沿革と事業変遷）



# 参考資料（沿革と事業変遷）

## 事業成長と成長ドライバー



規模拡大時期

再構築

再成長

技術力  
醸成

設備大型化  
生産力拡大  
組立事業

FPD  
太陽電池

大型設備整理  
生産力再配分  
真空パーツ強化

半導体強化

# 参考資料（現在の事業内容）

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

## 主要工程

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
スパッタ  
枚葉洗浄  
アッシング  
ウエハーボンディング  
イオン注入  
アニール

## 主要製品

真空チャンバー  
シャワーヘッド  
排気板  
静電チャック  
ヒーター類  
上部電極  
ターゲット  
搬送系パーツ類  
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

# 参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2021年5月31日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員） 兒島 吉二 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員） 外西 啓治 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員） 桃木野 聡 取締役（監査等委員） 山本 隆章 取締役（監査等委員） 宮川 博次
従業員数	267名 うち 臨時雇用者等 106名（2021年5月31日現在） 他 派遣社員28名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械、精密機器の設計、製造、加工</li> <li>・精密機械部品の設計および製作</li> <li>・産業および医療機械器具の設計、製造、販売</li> <li>・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事</li> <li>・運送業務 ・不動産の賃貸</li> </ul>
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術は究極を目指し</li> <li>・競争と協調を尊び</li> <li>・技術注力企業として社会に貢献する</li> </ul> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	8,419名	
大株主 (普通株式)	前田 俊一	4,818,700株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	558,900株
	前田 美佐子	504,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	181,600株
	前田 良子	180,000株
	川本 忠男	175,800株
	五十嵐 光栄	168,000株
	SMBC日興証券株式会社	140,800株
	マルマエ共栄会	135,200株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	128,400株
（注）自己株式が250,196株あります。 （2021年2月28日現在）		